

号券彩了

一ヶ月三十銭
一ヶ月六十銭
一ヶ月九十銭
一ヶ月一百二十銭
一ヶ月一百五十銭
一ヶ月一百八十銭
一ヶ月二百銭

出稼ぎの悴に
歸へるよと母親から
平署へ涙の説諭願ひ

綿羊變じて
山羊なるか？
江名町永崎、吉田、山松、鈴木、水野の両氏は綿羊飼育家として評判だが陸軍被服廠へ納めるため昨日わざ／＼

追善發句會
去十五日豊岡の諏訪神社奉祭りはあの大雨で大雨でそれでは御神輿は雨を侵して練り廻つたそれに小社稲荷神社のみこしと夏井の郷社大國魂神社のみこしとか渡御し近郷から約三千の人出があつて大變な賑はひだつた

看板と金文字
時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報
（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

濱の不況打開に 若狭から 指導釣船

中山水試場長の功績

今月下旬より小名濱沖で

底曳船行詰りの聲が漁業家を脅かしてゐる今日、何か新しい漁業法はないかと心を砕いてゐた中山水試場長の「鮪釣り」に著目、農林省を動かして二千圓の補助をもらひ同縣小濱町から遠く小名濱に鮪釣船を回航させた。これは鮪釣船の原料となる鮪を捕つたのは全然使はず、またこれは鮪釣船の船頭八名位も釣つた方は比較にならぬ。

久之濱漁港より 魚市場へ通ずる 道路の不便

町民の腦み

出稼ぎの悴に 歸へるよと母親から 平署へ涙の説諭願ひ

新潟縣北蒲原郡南津村北見土地の船主から百圓かりた塚有田松蔵二男松二郎（三）から歸へる様にと母つたか

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

苗熱病も発生

これは大變!!!
江名町上神白に腐敗病一

平小鐵道敷設に就て

本社に對する 名士の回答

元町、現第二區長
馬十郎
鐵道の大局より觀察して
片渡回の必要無し湯本
經由の如きは遺憾や成さ
ぬ

豊間村春祭り

鹿島村の名家三島五郎氏の
親父五平氏の十七回忌進善
發句會は去る十三日午前九
時から藏持正福院で開かれ
約二百五十名以上の出席を
見計一千六百餘句に及びま
すことに盛大なものだつたな
は五郎氏の長男五郎氏は
現在同村の収入役を勤める

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

看板と金文字

時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報

（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

戀を吐られ

娘さん家出

豊間村沼の内、漁夫坂本
龜吉二女よし子さん（二）は
かねて自動車運転手と戀仲
であつたが父親に手ひどく
叱られたので数日前無断家
出、若くはつて両親が警察
へ搜索を願出た。

出稼ぎの悴に 歸へるよと母親から 平署へ涙の説諭願ひ

新潟縣北蒲原郡南津村北見土地の船主から百圓かりた塚有田松蔵二男松二郎（三）から歸へる様にと母つたか

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

看板と金文字

時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報

（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

久之濱漁港より

魚市場へ通ずる 道路の不便

町民の腦み

出稼ぎの悴に 歸へるよと母親から 平署へ涙の説諭願ひ

新潟縣北蒲原郡南津村北見土地の船主から百圓かりた塚有田松蔵二男松二郎（三）から歸へる様にと母つたか

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

看板と金文字

時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報

（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

家出の娘さん

乙女心の感傷から

原因は些細

出稼ぎの悴に 歸へるよと母親から 平署へ涙の説諭願ひ

新潟縣北蒲原郡南津村北見土地の船主から百圓かりた塚有田松蔵二男松二郎（三）から歸へる様にと母つたか

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

看板と金文字

時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報

（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

出稼ぎの悴に

歸へるよと母親から 平署へ涙の説諭願ひ

新潟縣北蒲原郡南津村北見土地の船主から百圓かりた塚有田松蔵二男松二郎（三）から歸へる様にと母つたか

家出の娘さん 乙女心の感傷から

原因は些細

看板と金文字

時代相應した
料金に廉價
御用命に應じます
平町南町
佐々木秋堂

天氣豫報

（十七日）
今晩南風晴少立候様あり
明日南風晴後曇り
紀州潮岬八丈島一帯
銚子新湊能登輪島一帯
當地氣歴七百五十九耗八

巷の騒音

中之作ながしカフエー 沖を眺めて涙ぐんでゐるのれい子さん(三)、あの美 吾と思わん勇士よ、どう 貌どぐつたりした姿態からぞ慰めてやつて下さい 發散するイットと出稼ぎも

稼いだり正に二千圓! 事奮闘の部類で今時だされ この大金を元手に六月早 代物でもないが、小名濱 々小名濱ヘーリヤン俱樂部 天橋町の某タイサバヤ 師を開くよじだが胸に一物 下橋明邊の某馬車引き君 ある青年、中年どもが又々 の妻君をよつくらあらぬ ワンサと押しかけるちやら

うと今からの評判 困着、町議さんや松の中の 「薄墨」を口づさみながら お金持やイサバヤの親分達 とけるやうな、まなざしで これも同じカンエーのあがま あ〜と仲裁に入つて 牧の白い首筋をみつめた さ子さん(八)頼みにしてゐる 筆者が件の馬車引君を訪問 「いやにむして来る。」 た若者がカムチャツカ出漁した 時にはその雲隠れ牧は、誰に言ふともなく 船に乗組んで出帆してから した妻君と仲よく一ツ床に 千秋をさける様にして 廊下 さいふのひまさへあればちやかりして 御座つたか、へ出ていつた。

御願ひ

四月十六日より有志各位の深厚なる御支援に依り日刊新聞紙としての手習を初 めました。小さな新聞統制のとなれない配當、加ふるに誤字だらけ、で願ひて除 りに恥多きことを自覚して居るのであります。 然し報導紙としての責任即ち公正無私をモットーとして社同人は各持場に就き 一生懸命で全身の努力を拂つて居る次第であります。 日刊新聞の維持は購読料に俟たねば到底出来得る者でないのであります。依て讀 者各位に御願ひするのであります。購読料など、大分味では恐縮ですが、新聞の 維持費と云ふ意味合で本月分より(五月)

壹ヶ月金貳拾五錢宛

頂戴させて戴きたく、そう御願ひ出来得れば曲りなにも經營して行く確信を持 てるのであります。 社同人は粉骨碎身の努力を惜まず各位の新期待に添ふべく充分な飛躍を恣にす る考で居ります。 是非倍舊の御高底を懇願してやまない次第であります。 配達夫が児童の爲め配付視れの處も見受けられますが、其點は悪からず何卒御 中越願ひ併せて申上げて置きます

刊常磐新聞社

短編小説



山霧

遠藤紳一 郎作

「八」 薄墨に書く玉づきの 思ひして、雁啼き渡る 宵間に、月影ならで主 さんには... 廊下の時計が淋しそうに二 時を告げた

まゝそんな様な譯でこの一人の妻君などを隠したりな 幕は目出度くけり。何にせんぞするのは罪ですせ!

長品賣に勝る商略なし 磐城セメント 久釜屋商店 業工産水城磐 社會式株 部油鑽 場市魚

外科専門 レントゲン科 上田科外醫院 平川醫院 高木惣治 資生堂 清世界